

第 37 号
平成 19. 3. 1 発行
編集 京都教育大学
保健管理センター

CAMPUS HEALTH



— 保健管理センターからのお知らせ —

春と秋、年に2回、発行してきましたキャンパスヘルスは今回より春に1回のみ発行することになりました。

これからは保健管理センターのホームページサイト
<http://gakusei.kyokyo-u.ac.jp/uhc.htm> をより充実させ、最新の情報を掲載していきますのでぜひご覧ください。

毎回、挿し絵を担当していただいている岡村先生がこのたび日展の内閣総理大臣賞を受賞されました。おめでとうございます。

私の健康法

健康法は???あまり気にしていない方だったのが狭心症をきっかけに歩く事を余儀なくされ歩いているとっていいのでしょうか。

しかしながら大学の諸事情や制作のため歩く時間もままならない今日この頃、血液の数値は悪化を辿るばかりで主治医を困惑させる日々を過ごしています。まあ寿命任せといった処でしょうか。

そんな中、私にすれば毎日の作品と向かい合い話しが出来ることこそが一等の健康法なのだと思います。

制作に疲れますと、紀伊の海に写生に出かけゆつくりと時間を掛けて一枚の画用紙に向かうことがエネルギーの補充と内的充実感が膨らむようです。

海と岩礁の中に身を置き、タイドプールをのぞき込み小さな海洋生物の不思議さにふれ、山の木々の中に休息して、南紀特有の濃く粘り強い緑に感動し、充滿するその匂いに気持ちが和みます。深山のダム湖の深い青に眼が心地よく泳ぎ、海岸の無数の丸い石に身体を横臥する、地球に張り付いたように見渡す青空に久遠の宇宙を感じつつ蘇る自分を見つけたりします。

* ここでお得情報を!

南紀の端、東紀州になるのでしょうか?熊野鬼ヶ城を右手に見ながら国道42号線を山中に入りまもなく左側にお食事処「銀??」という食堂が眼に入ります。ここの地方色豊かな良い味がする!サンマ寿司!これは一度経験する価値有りです。舌の付け根がキューンとして胃の働きが元気づきますヨ!!!

日本画家 岡村倫行 (美術科)

平成19年度健康診断について

平成19年度の健康診断は下記の日程で実施しますので必ず受検してください

実施日	受付時間	対象者
4月4日 (水)	9:00~11:30	新2回生・新4回生以上・大学院・特専の男子
	13:00~16:30	新2回生・新4回生以上・大学院・特専の女子
4月5日 (木)	9:00~11:30	新1回生・新3回生・外国人留学生の男子
	13:00~16:30	新1回生・新3回生・外国人留学生の女子

上記の日程で受検できない学生は、事前に保健管理センターに申し出てください
(TEL 075-644-8170)

実施場所 F棟

実施項目 胸部間接撮影, 身長, 体重, 視力, 血圧, 検尿, 内科検診

＝ 注意事項 ＝

- 1) 健康診断の受付は、F棟大講義室2で行います。F棟に入る時には、北側階段を利用してください。
- 2) 午前が男子、午後が女子ですので気をつけてください。
- 3) 検尿は、受検日当日に受付で容器を受け取りF棟で採尿します。
- 4) 脱衣しやすい服装（絵柄のない無地のTシャツ等）で受検してください。
- 5) 研究生、科目等履修生の方は受検できません。
- 6) 新入生は健康調査票(CM1・学生記録カード)に、所定の事項を全て記入して4月13日(金)までに保健管理センターへ提出してください。

自動証明書発行機での健康診断証明書発行時の注意事項

定期健康診断（全検査項目）を受検していないと就職や介護体験、対外試合及び大学院入試等に必要となる健康診断証明書の発行はできません。
健康診断に関する質問等は、保健管理センターへどうぞ。

業務案内

心の健康相談の日時については予約申込をしてください。
(健康管理医のメールアドレス: nakkan@kyokyo-u.ac.jp)

応急処置 月～金 9:00～17:00 (但し,12:30～13:30は除く。)
(TEL075-644-8170)

タバコと映画

タバコは映画の中では欠かせない小道具の1つでした。ジミー（ジェームス・ディーン）やボギー（ハンフリー・ボガード）がくわえタバコをした姿は実にさまになり、今は亡き小森の「オバちやま」はもとより、若いも若きもその男っぽさに夢中になりました。しかし最近では禁煙に対する見識が広がるにつれて、映画やドラマの喫煙シーンが、子どもたちの喫煙をいたずらに促しているのではないかと考えられるようになりました。

例えば、2005年に報告された米国の研究報告には次のようなものがあります。

○1990年以降に制作され、興行成績が上位10位以内にあり、90年代の米国社会を描いた映画に登場する主要人物5人の喫煙を調査したところ、映画における喫煙率は23.3%で米国社会の喫煙率の21.8%とほぼ同等でした。男性登場人物の喫煙率（25.5%）は、女性登場人物（20.5%）よりも高く、白人（38.9%）は少数民族（29.4%）よりもはるかに高かったそうです。主人公の喫煙率（20.6%）よりも敵対者の喫煙率（35.7%）が高く、喫煙者の48.2%が社会経済的な下層階級、22.9%が中流階級、10.5%が上流階級でした。R指定映画の主人公の喫煙率は37.3%と高く、PG-13映画（16.2%）やPG映画（8.1%）を大きく上回っていました。R指定の独立系映画とハリウッドスタジオ映画の間では主人公の喫煙率は46.2%対18.2%と、その差はさらに大きく、R指定独立系映画全体の喫煙率は49.8%とほぼ半数になっていました。今や映画の中では、喫煙する登場人物は単純にカッコいい役柄とはいえないようです。

○ランダムに抽出した10～14歳の子ども6,522人を対象に電話で聞き取り調査を行った研究では、映画の喫煙シーンへの曝露が最も多い子どもの喫煙率は、映画の喫煙シーンへの曝露が最も少ない子どもの喫煙率の2.6倍でした。喫煙シーンの視聴回数が増えるほど喫煙を試みるリスクが上昇していました。子どもが喫煙シーンを見ないようにする対策として、①映画業界に喫煙シーンやタバコの商標を自主的に制限するように働きかける、②映画評価システムに喫煙の項目を加え、喫煙シーンが小児に及ぼす影響を保護者に認識させる、③喫煙シーンが多いR指定映画を子どもが見ないように保護者がよく監督する、などが提唱されています。米国では喫煙シーンはポルノ映画に匹敵する扱いになるようです。

ところで、わが国のサスペンスやアクションなどのテレビドラマでは、喫煙シーンは以前に比べると減っているように思いますが、まだまだ多いようです。何よりも映画監督やドラマ制作者が喫煙の影響について十分に認識していないように思えます。子どもたちも視聴する映画やテレビですから、喫煙シーンに対する危機意識を高めたいものです。